

(様式1) 平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月22日		記入者		内線 773-7800
部 名	生涯学習部	課 名	相原公民館	課長名	高城 泰
事務事業名	高齢者学級				
予算上の事務事業名	公民館活動費相原公民館				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		15110		
基本目標	「学びあいたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります				
基本施策名	第1節 生涯学習の推進				事業開始年度
施策名	第1施策 生涯学習機会の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	社会教育法、市教育委員会事務局の組織等に関する規則、市公民館条例・規則				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	研修・講座 ▼				
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				
	館区内の高齢者が、その年齢にふさわしい社会的能力を高めるため、また市民生活の中で高齢者が抱えている様々な問題について学習し、積極的な生きがいを求めるため実施する。				(2) 対象(誰、何)
					実行委員(館区内の高齢者)
	(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。				
実施期間	平成16年9月1日から同年10月29日まで				
実施場所	相原公民館ほか				
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 相原の歴史について、相模原市合併問題について、介護保険のいろいろ ・実技 自分でできる楽しい指圧、グランドゴルフのつどい、みんなと歌おう、押し絵を作ってみよう ・鑑賞 三味線・民謡のこころ ・見学 藤野芸術の家ほか 				
6 関連・類似事業や他市の状況	市内23館の公民館で実施				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	93	93	93	93	93
一般財源	90	90	90	90	90
受益者負担金	3	3	3	3	3
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	18	18	18	18	18
事業コスト合計(a)	111	111	111	111	111
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	高齢者学級			対象名称(単位)	1教室当たり
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	111	111	111	111	111
対象数	99	115	108	100	100
単位あたり経費(円)	1,121	965	1,028	1,110	1,110
前年度比		0.86	1.06	1.08	1.00
9 活動指標・・・実施した内容(活動)の数値化					
指標名	教室参加者人数	指標式と指	由込参加者数		

(単位)	対象参加者数	標の説明			中心参加者数
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	98.0	115.0	108.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	0.98	1.15	1.08		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名(単位)	平均参加者数	指標式と指標の説明			(延べ参加人数÷講座開催回数)÷参加人数×100
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	64.2	68.9	66.5		
目標	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0
目標達成度	98.8	106.0	102.3		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]: 良好な状態を維持する事業			
	[]: 概ね良好な状況である事業			
	[]: 見直しを行う必要がある事業			
	[]: 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			実行委員会を組織し、自らが学習課題を選考し主体となって実施していることから、今後も事業の継続は妥当であると考えられる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
小中学校との連携や、地域青少年関係団体との交流を多くし、高齢者が持っている教育力を活用できる内容を充実させることも必要と考える。			高齢者といっても学習意欲や体力に個人差があり、学習プログラムを考える上で準備委員の方も苦労していた。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			